海とみどり、歴史を活かす癒しのしま

壱岐市

市勢要覧

〈平成26年度 改訂版〉

IKI CITY INFORMATION

ごあいさつ

MESSAGE FROM THE MAYOR

壱岐市長
白川　博一

白砂青松の豊かな自然、人情味溢れる風土、新鮮な海の幸そして米・いちご・メロン・アスパラ・壱岐牛などの豊かな農産物、そして麦焼酎発祥の地として有名な壱岐焼酎……まさに壱岐は「グルメの島」です。

そして壱岐は「歴史の島」でもあります。太古の昔から、東アジアと日本との交易の拠点として栄え、島内には貴重な遺跡や歴史遺産がいくつも点在しています。特に中国の史書「魏志倭人伝」に登場し、その王の都として初めて場所が特定された弥生時代の環濠集落「原の辻遺跡」は、国の特別史跡に指定され、歴史的価値の非常に高い貴重な品々が数多く出土しています。

こうした貴重な歴史遺産を活かすべく、平成22年3月14日、壱岐市立一支国博物館・長崎県埋蔵文化財センターがオープンし、悠久の歴史を堪能できる施設として、大変好評を得ています。この博物館を拠点に、壱岐を全国そして世界に情報発信し、交流人口の拡大を図るとともに、農業・漁業はもとより地場産業の振興を図っています。

そして、平成23年4月、壱岐市にとって画期的な事業である、光ケーブル網の整備が完成するとともに、壱岐市ケーブルテレビが開局しました。災害時における情報の伝達をはじめ、壱岐市民皆様が主役となる様々な情報の発信に努めています。

このように、日々刻々と変化する情勢の中で、「海とみどり、歴史を活かす癒しのしま　壱岐」の実現とさらなる飛躍に向け、様々な取り組みを実践しています。

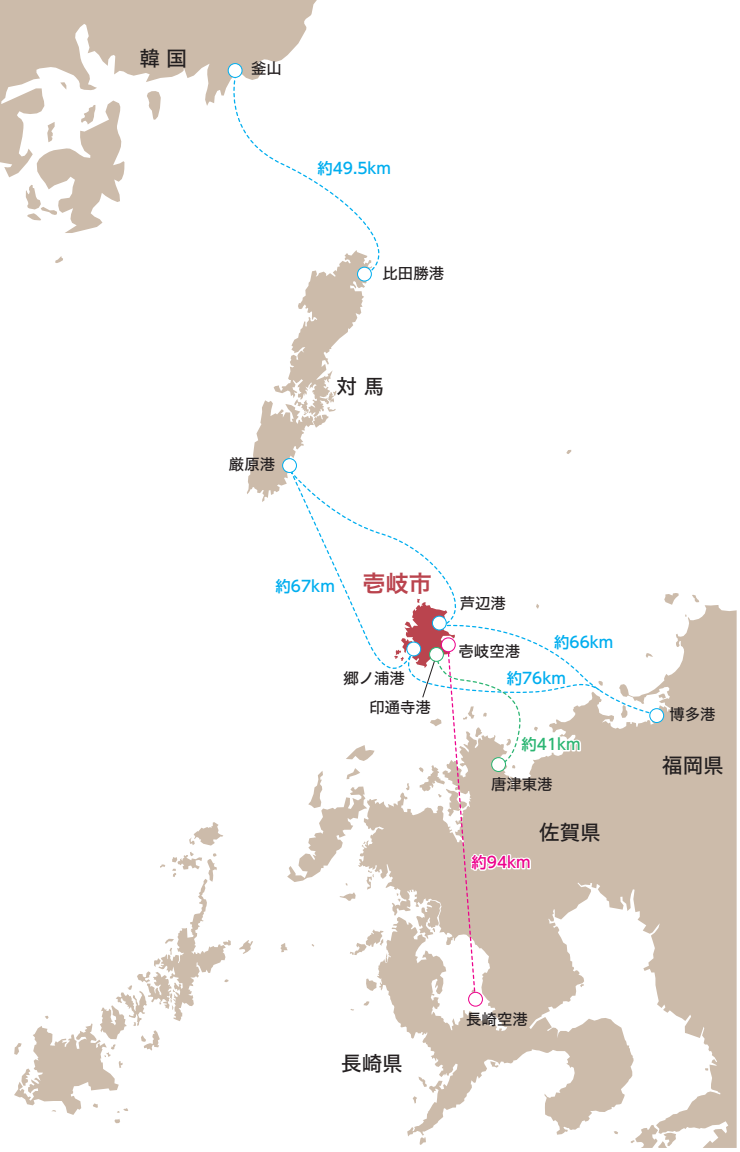
この市勢要覧は、こうした壱岐市の魅力や活力ある産業、そして様々な分野で活躍される市民皆様の様子など紹介しています。

この冊子が壱岐市のまちづくり・地域づくりをご理解いただくための一助になれば幸いです。

壱岐市行政区のあゆみ

HISTORY OF IKI CITY

明治4年7月14日	廃藩置県により平戸県となる。
明治4年11月14日	長崎・平戸・島原・福江・大村を合わせて長崎県の管轄となる。
明治5年2月	区制施行により、壱岐を第76大区・77大区・78大区の3大区とし、浦を村に合わせて22小区（22村）に区分。壱岐の自治制の基礎ができる。
明治6年12月	3大区を廃止し、全島を第30大区とする。
明治11年10月	郡区町村編制法が制定され、**壱岐郡・石田郡**の2郡となり22村に分けられる。 **壱岐石田郡役所**が武生水村に置かれる。
明治22年4月1日	市町村制施行により、壱岐・石田の2郡、12村（武生水村・渡良村・柳田村・沼津村・志原村・初山村・香椎村・鯨伏村・田河村・那賀村・箱崎村・石田村）となる。
明治29年4月1日	壱岐・石田の2郡を合併、**壱岐郡**となる。
大正11年8月	**壱岐総村組合**設立。
大正14年4月1日	武生水村が武生水町となる。
大正15年7月1日	壱岐郡役所を廃止して**壱岐支庁**が設置される。
昭和10年4月1日	香椎村が勝本町となる。
昭和22年11月3日	田河村が田河町となる。
昭和23年4月1日	壱岐郡12町村をもって**壱岐郡町村組合**を設立する。
昭和30年2月11日	町村合併促進法により、武生水町・渡良村・柳田村・沼津村・初山村・志原村の6町村が合併して**郷ノ浦町**となる。 また、勝本町・鯨伏村が合併して**勝本町**となる。
昭和30年4月1日	田河町・那賀村が合併して**芦辺町**となる。
昭和31年9月30日	芦辺町に箱崎村を編入する。
昭和33年4月1日	郷ノ浦町の久喜触を石田村に編入する。
昭和36年4月1日	芦辺町湯岳地区の射手吉触・興触の一部を石田村に編入する。
昭和45年8月1日	石田村が**石田町**となる。
昭和56年4月1日	壱岐郡町村組合を**壱岐広域圏町村組合**と改称する。
平成16年2月29日	合併に伴い壱岐広域圏町村組合が解散する。
平成16年3月1日	郷ノ浦町・勝本町・芦辺町・石田町が合併して**壱岐市**となる。



壱岐市の概要

壱岐市は、平成16年3月1日に郷ノ浦町・勝本町・芦辺町・石田町の4町が合併して誕生しました。

壱岐市は、福岡県と対馬の中間地点で玄界灘に面し、福岡県博多港から郷ノ浦港まで西北76km、佐賀県唐津東港から印通寺港まで北41kmの位置にあります。

南北約17km、東西約15kmのやや南北に長い亀状の島で、総面積は139.42km^2、壱岐本島と23の属島（有人島4・無人島19）からなる全国で20番目（沖縄は除く）に大きな島です。

地形は一般に丘陵性の玄武岩をなし、高度100mを超える山地が占める面積は極めてわずかです。分水嶺は西に偏り、谷江川は北西から南東に、幡鉾川は西から東に流れ、その流域には、本島最大の平野（深江田原）が発達しています。

海岸線は屈曲が多く、発達した海蝕岩がみられる北東部を除けば、大小の湾入があります。特に、西岸一帯は激しく、溺谷の原型を保っており、南東岸には、大小の砂浜が点在しています。

昭和43年7月22日に、壱岐の一部地域が壱岐対馬国定公園に指定、また、昭和53年6月16日には、辰の島・手長島・妻ケ島の3ケ所が海中公園地区に指定されるなど自然景観にも恵まれてます。

現在、壱岐市では「①産業振興で活力あふれるまちづくり、②福祉・健康づくりの充実で安心のまちづくり、③自然を生かした、環境にやさしいまちづくり、④心豊かな人が育つまちづくり、⑤国内外交流が盛んなまちづくり、⑥さまざまな人が関わり合うまちづくり」の6つの基本指針をもとに、「海とみどり、歴史を活かす癒しのしま　壱岐」を目指し、新しいまちづくりを進めています。

壱岐市の気象

対馬暖流の影響を受け、概ね温暖な海洋性気候です。県本土の長崎市・佐世保市と比較すると、年間を通して1～2度低く、同緯度の福岡県北部と比較すると、夏季は涼しく、冬季はやや温暖で、降雪や積雪もまれです。

降水量は、6・7月の梅雨期と9月の台風、秋雨時期に多く、県本土よりはやや少ない傾向にあります。

九州本島から壱岐市へのアクセス

長崎空港 → 壱岐空港	約94km	飛行機	約30分
博多港 → 郷ノ浦港	約76km	ジェットフォイル	約1時間10分
		フェリー	約2時間25分
博多港 → 芦辺港	約66km	ジェットフォイル	約1時間5分
		フェリー	約2時間10分
唐津東港 → 印通寺港	約41km	フェリー	約1時間40分

壱岐市の地形

広　域	東西 約15km・南北 約17km
面　積 ※( ) 内は属島を含まない	139.42km^2 (133.93km^2)
周　囲 ※属島を含む	約191km
最大標高	212.8m(岳ノ辻)

壱岐市の人々

人　口		29,377人
	男性	13,917人
	女性	15,460人
世帯数		10,401世帯
人口に占める65歳以上の割合		32.8%

（平成22年）

1
IKI CITY PROFILE

【産業振興】

産業振興で活力あふれるまちづくり

産業の活性化は就業機会の創出や所得の向上をもたらし、活力を生む重要な柱となります。離島のハンディキャップはあるものの、福岡都市圏に近い立地特性を生かし、壱岐ブランドの確立や交流人口の増加に努め、産業振興による地域活性化をめざします。

農　業
AGRICULTURE

壱岐市の主な作物は、水稲・葉たばこ・肉用牛の基幹作物を中心に、メロン・いちご・アスパラガスなどの施設園芸や野菜・花きなどを取り入れた複合経営が主体となっています。

今後、省力的な農業経営を推進し、生産組合など多様な担い手を確保・育成するとともに、水源涵養（かんよう）や自然環境の保全など、公益的役割を担っている農地の有効活用を図っていきます。

水産業
FISHERY INDUSTRY

水産業は、好漁場に恵まれ、平成20年末の登録動力漁船は2,057隻で、イカ・ブリ・マダイ・マグロなどを主要漁獲としています。また、岩礁地帯が多いことから、アワビ・ウニなどの磯根資源も豊富です。

今後は、漁業の安定生産のため、栽培漁業・資源管理型漁業の推進により、資源の積極的な増大と適正な管理に努めるとともに、漁港・漁場の総合的な整備や沿岸環境保全の取り組みなどによる安定した生産体制を構築していきます。

商工業
COMMERCE AND INDUSTRY

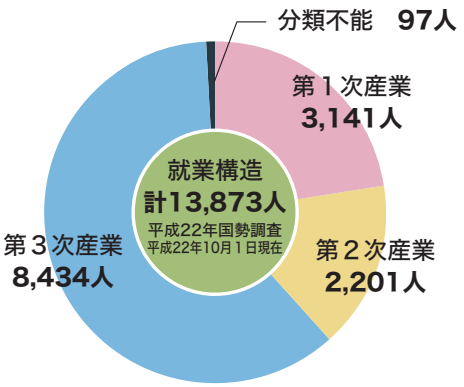
商業は、個々の商店が、消費者にとって魅力のある店として活性化を図るとともに、商店街内の空き店舗等を活用し、活気ある商店街を作るため、買物客が積極的に利用できるさまざまなスペースの提供などを図っていきます。

観光業
SIGHTSEEING INDUSTRY

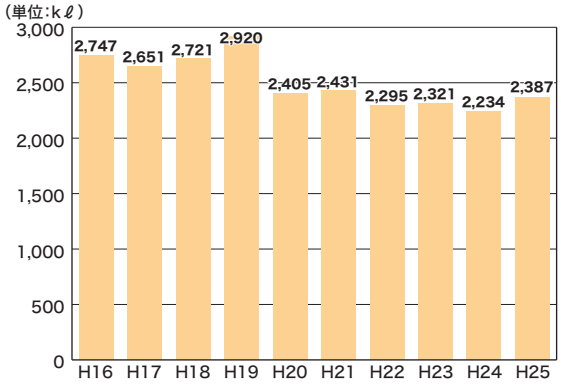
観光は、通年型観光機能の充実、体験型観光の促進のほか、教育旅行や外国人観光客の誘致を図っていきます。

さらに、農業・水産業など異業種との連携を推進し、「壱岐はひとつ」の心で観光産業の活性化を図り、観光振興によるまちづくりを推進していきます。

産業振興 ▶ 就業構造



商工業 ▶ 焼酎出荷量



農業 ▶ 農家戸数と主要農畜産物生産量

●農家戸数

(単位:戸)

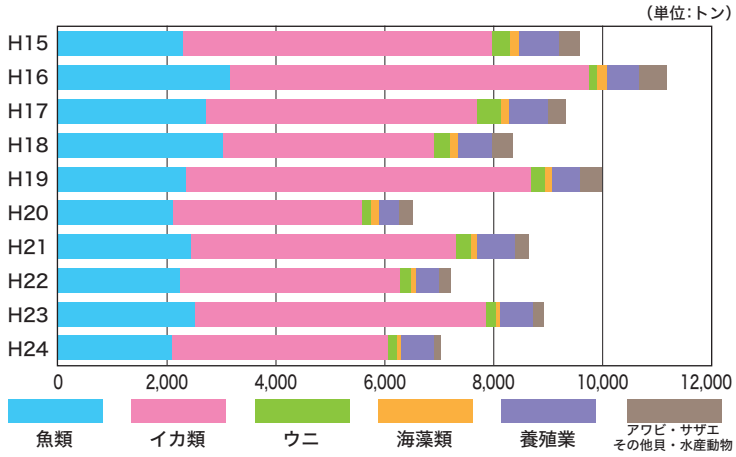
販売農家			自給的農家	総数
専業	第１種兼業	第２種兼業		
518	240	1,052	918	2,728

(平成22年 農林業センサス)

米		肉用牛		葉たばこ	
生産量(t)	生産額(百万円)	飼育頭数(頭)	生産額(百万円)	生産量(t)	生産額(百万円)
3,264	710	12,457	3,230	192	380

(平成23年 農林水産業統計年報)

水産業 ▶ 主要魚種別漁獲量



2
IKI CITY PROFILE

【福祉・健康】

福祉・健康づくりの充実で安心のまちづくり

すべての住民が健康で幸せな生活を送るためには、共に支え合い、共に生きる、安心とゆとりに満ちた温かい社会を創る必要があります。生涯を通しての健康づくり、生きがいづくりのため、子どももお年寄りも障がいのある方も誰もがいきいきと快適に暮らせるような福祉の充実に努めます。

福　祉
WELFARE

現在、高齢者や障がいを持つ人など、社会的な支援がないと日常生活を維持できない人の増加や、それを支える介護力の低下が問題となっています。

このため、今後も、高齢者・障がい者福祉施設や福祉サービスの充実など、福祉の向上を図っていきます。また、保健・医療・福祉の連携や、高齢者同士が支え合う地域福祉システムを確立するほか、ボランティアが活動しやすい環境づくりも進めていきます。さらに、高齢者や障がいを持つ人にも優しい、ユニバーサルデザイン（バリアフリーも含む）のまちづくりについても推進していきます。

保　健
HEALTH

壱岐市の65歳以上人口は、平成25年3月31日現在で9,538人、高齢化率は32.8％となっています。

また、介護保険制度による要介護認定率は22.0％で、長崎県平均の22.4％よりやや低い状況です。

今後は、高齢者が、豊富な知識や経験、技術を生かし、地域社会において積極的な役割を果たすことが期待されています。シルバー人材センターの活用促進をはじめ、高齢者が地域社会のなかで、いきがいをもって生活できる環境づくりを推進していきます。

医　療
MEDICAL TREATMENT

壱岐市には、病院7・一般診療所14・歯科診療所10の31施設の医療機関があります。

市内唯一の総合的機能を持つ壱岐市民病院は、平成27年4月に長崎県病院企業団に加入し、名称を「長崎県壱岐病院」として、新たに開院しました。

今後、長崎県病院企業団の構成市町の一員として、市民皆様一人ひとりが安心できる保健医療体制の確立に向けて、医療機関や福祉施設、関係団体等との連携を深めながら、地域医療体制の構築に努めてまいります。

福祉・保健　福祉施設数、定員数

老人ホーム	定員110名
特別養護老人ホーム	定員220名
デイ・サービスセンター	7ヶ所(市立1、法人6)
老人保健施設	法人2ヶ所
保　育　所	7ヶ所(市立6、私立1)
へき地保育所	市立6ヶ所

(平成27年)

医療　医療施設数

病　　院	7ヶ所(市立2、法人5)
診　療　所	14ヶ所(市立4、法人・個人12)
歯科診療所	法人・個人10ヶ所
老人訪問看護ステーション	法人2ヶ所

(平成27年)

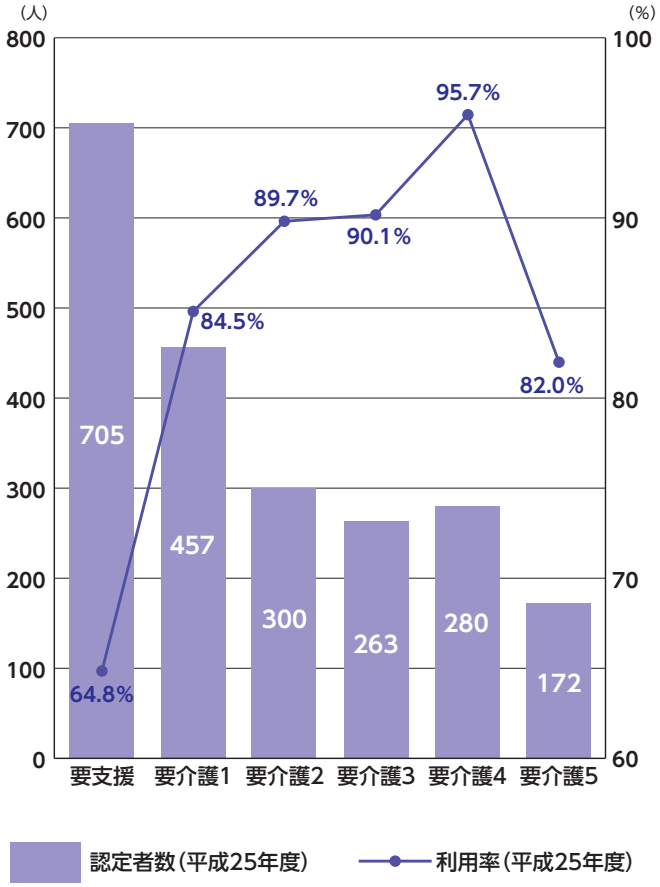
医療　急患搬送状況

(単位:回)

壱　岐　市	ドクターヘリ	海上自衛隊機	県防災ヘリ
平成22年度	22	15	0
平成23年度	18	16	5
平成24年度	26	18	6
平成25年度	23	16	5

(平成26年県医療人材対策室調べ)

福祉・保健　介護保健サービス認定者数と利用率



3
IKI CITY PROFILE

【自然・生活環境】

自然を生かした、環境に優しいまちづくり

美しい海、豊かな緑。壱岐の恵まれた自然環境は市民にとってかけがえのない宝です。この自然の保全・充実に努めるとともに、防災や防犯、交通安全などへの備えが整い、安全安心に快適に暮らしていけるまちづくりを推進します。

生活環境
LIFE ENVIRONMENT

市内には、農村公園・都市公園など、多様な公園があります。

今後も、自然との調和を図りながら、それぞれの地域の特長をさらに生かした整備を行い、歴史・文化が調和する個性や多様性にも重点を置いた、魅力あふれる空間を創出していきます。

消防・防災
FIRE FIGHTING AND DISASTER PREVENTION

壱岐市の消防体制は、1本部・1署1支署・2出張所の職員60名と壱岐市消防団32分団、約950名の消防団員が共に協力して消防・防災に取り組んでいます。

今後は、防災・防犯に関して、壱岐市の地域防災計画を基本に、市民の防災意識の高揚、自主防災体制の確立を図っていきます。また、地震災害・原子力災害の予防対策などについても、検討を行っていきます。

交通安全の確保については、幼児・児童・高齢者・身体に障害を持つ人などの交通弱者に配慮した、各種の交通安全施設を整備していきます。

水道・ゴミ
WATER SERVICE AND GARBAGE

壱岐市の水道普及率は99.5%であり、取水量の約69%を地下水から取水しています。

また、壱岐市のゴミ処理は、旧4町ごとに立地・運営されていた廃棄物関連処理施設がありましたが、平成24年4月より壱岐市クリーンセンターが供用開始しています。平成25年度での処理総数は約8,500トンで、再資源化等によりゴミの排出量は若干減少しておりますが、市民の生活・消費活動の多様化に伴い、ゴミの排出量が増加する可能性もあります。

今後も、排出されたゴミの適正処理という考えのみでなく、「できるだけゴミを出さない」、「排出されたゴミは可能な限り、リサイクルする」という観点を重視した、資源循環型ごみ処理システムを確立していきます。

生活環境 ▶ 港湾・漁港数

港　湾	重要港湾	郷ノ浦港
	地方港湾	勝本港、印通寺港、森ノ浜港
漁　港	第4種漁港	大島漁港
	第3種漁港	芦辺漁港
	第1種漁港	15漁港

（平成26年度）

水道・ゴミ ▶ 水道の現況

給水区域内人口	28,671人
給　水　人　口	28,527人
普　及　率	99.5%
年間総配水量	4,069,196㎥

（平成26年3月31日現在）

水道・ゴミ ▶ ゴミ処理量・回収量

●ゴミ処理量（平成25年度実績）

ゴミ排出量 8,514トン

1人1日当たり排出量 802.3グラム

焼却量 6,450トン

リサイクル率 33.0%

●資源回収量（単位：トン）

空缶類	空ビン類	ペット類	トレイ	古紙類	布類
150	211	78	27	1,311	22

（平成25年度実績）

水道・ゴミ　ダム貯水量

治　水	勝本ダム	108万トン
	永田ダム	23万トン
多目的	男女岳ダム	13.3万トン
灌　漑	梅ノ木ダム	70万トン
	当田ダム	44万トン
水　道	門野田貯水池	2万トン
	大山貯水池	8万トン
	西崎貯水池	10.5万トン

（平成26年）

消防・防災　火災発生・救急出動件数（年別）

	火　災			救　急
	発生件数	死者	負傷者	出動件数
平成17年	45	1	3	1,470
平成18年	24	2	3	1,432
平成19年	38	0	6	1,390
平成20年	40	0	6	1,480
平成21年	39	1	0	1,444
平成22年	30	1	3	1,549
平成23年	39	0	4	1,528
平成24年	21	1	2	1,559
平成25年	30	0	4	1,601
平成26年	27	1	2	1,741

（平成26年）

4
IKI CITY PROFILE

【教育・文化・スポーツ】

心豊かな人が育つまちづくり

幼児期から高齢者にわたるすべての世代において、誰もが気軽に学習できる多様な学習機会を整えるとともに、スポーツ･レクリエーションの推進、芸術・文化の振興を図り、心豊かな人が育つ総合的な環境整備に努めます。

学校教育
SCHOOL EDUCATION

壱岐市の教育は、平成26年5月1日現在、小学校20校（分校2校含む）・中学校4校・高等学校2校の合計26校に、3,255名の児童生徒が在籍し、357名の教職員により、教育活動が展開されています。

学校教育では、国際化や情報化等の社会の変化に自ら対応できる、「生きる力を身につけた児童生徒の育成」を推進しています。そのために、「生きる力」を支える確かな学力･豊かな心･健やかな体を育むとともに、学力の向上を図っていきます。

社会教育
SOCIAL EDUCATION

学びあう心を育てる生涯学習の推進を基盤に、活力ある人づくりと潤いのある環境づくりのため、各種講座・学級・教室を開設しています。

これからも、家庭教育、青少年教育、成人教育、女性教育、高齢者教育に至るまで､生涯を通じた学習機会の充実･体系化を進めていきます。

スポーツ・文化
SPORTS AND CULTURE

壱岐市のスポーツ活動については、生涯学習とともに、広域的な体制を整備するほか､市民誰もが､気軽にスポーツに取り組み、楽しめる総合型地域スポーツの振興を推進し、生涯スポーツ活動の機会を拡充していきます。

また、壱岐市の芸術・文化活動については、文化ホールなどの施設を活用し、文化協会をはじめ、サークル・団体などが地域に根ざした特色ある活動を実施しています。特に、伝統文化として「壱岐神楽」や「山笠」などは、保存会を中心に受け継がれ、地域づくりに大きな役割を果たしています。

今後も、市民の芸術・文化に対するニーズに応えるとともに、地域に根ざした特色ある芸術・文化を創造し、次世代への伝承を行っていきます。

教育 ▶ 教育施設数

（平成26年）

幼　稚　園	9
小　学　校	20（分校２校含む）
中　学　校	4
高 等 学 校	2
特別支援学校	2

※虹の原特別支援学校壱岐分教室が盈科小内（小・中学部）と壱岐高校内（高等部）にあります。

教育 ▶ 幼稚園・小中学校の児童・生徒数

●幼稚園児童数　（単位：人、平成26年）

３歳	４歳	５歳
27	124	151
		計　302

●小学校児童数　（単位：人、平成26年）

１年	２年	３年	４年	５年	６年	特別支援
277	255	267	255	277	263	25
					計	1,594

●中学校生徒数　（単位：人、平成26年）

１年	２年	３年	特別支援
279	305	281	16
			計　865

文化 ▶ 市内の文化財数

（平成26年現在）

種　　別		件　　数
国指定文化財		9
	特 別 史 跡	1
	史　　跡	2
	重要文化財	4
	重要無形民俗文化財	1
	天然記念物	1
国登録（有形文化財）		1
国選択（無形民俗文化財）		1
県指定文化財		31
	史　　跡	6
	有形文化財	13
	天然記念物	12
市指定文化財		170
	史跡・名勝	34
	有形文化財	80
	有形民俗文化財	38
	無形民俗文化財	8
	天然記念物	10
合　　計		212

5
IKI CITY PROFILE

【国内外交流】

国内外交流が盛んなまちづくり

壱岐市の活力を育むためには、地域内はもとより都市部や外国等の地域を越えた交流の促進が重要です。人・もの・情報の活発な交流や生活の基盤となる交通体系・情報ネットワークの確立に努め、壱岐の生活・生産・文化機能を向上させるとともに、地域の個性を発揮し、魅力を高めていく地域づくりをめざします。

交　流
EXCHANGE

壱岐市には、自然や歴史的文化遺産など豊富な交流資源があります。また、九州と韓国の中間に位置し、歴史的にも大陸との交流が盛んな地域でもあります。

今後は、この地域特性を生かし、あらゆる分野での多様な交流と、国際交流を推進するため、学校教育や社会教育などを連携させて、外国の言語や文化を学ぶ機会を充実していきます。また、地域の活力を育むため、市民の理解・協働のもと、国内外交流を促進するための施設および体制づくりを推進するとともに、国際感覚豊かな人材の育成や、壱岐を来訪する外国人のための受け皿づくりについても進めていきます。

交　通
TRAFFIC

道路については、地域活性化の基盤となる幹線道路における交通円滑化・安全性向上のため、国道、主要地方道、一般県道、１級・２級市道の計画的な道路整備による、幹線道路網の形成を図っていきます。

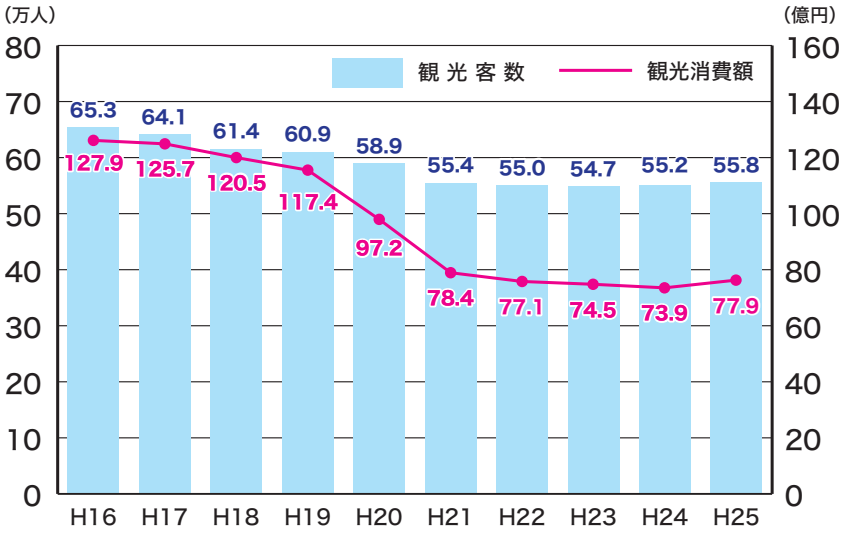
生活道路といわれる市道は、道路整備や維持・補修に努め、機能性・利便性・快適性の向上を図り、生活に密着した安全で人に優しい道路として逐次整備を進めていきます。

交通手段については、高齢者や子どもなどの通院・通学のため、また、買い物など日常生活の移動手段として、乗合バスを確保し、運行体制を維持しつつ、地域の実情に応じた運行形態の見直しを行っていきます。

情報・通信
INFORMATION AND COMMUNICATION

近年の情報通信技術の発展は、めまぐるしい速度で進展しています。大きく変化する社会・経済・生活環境を、より豊かに実感できるまちづくりの手段として、情報・通信基盤の整備、住民の情報活用能力の向上による住民参加の情報ネットワークづくりを進めていきます。

交流　観光客数と観光消費額



(平成 25 年)

交流　修学旅行来島者数

年　度	来校数(校)	来島者数(人)
平成17年	37	5,348
平成18年	38	4,570
平成19年	40	5,058
平成20年	38	4,340
平成21年	49	5,359
平成22年	44	5,010
平成23年	38	4,519
平成24年	31	3,756
平成25年	31	2,513
平成26年	32	3,581

(平成 26 年)

交通　壱岐からの交通手段と輸送実績

区　分	壱岐市	本土等	輸送実績(人)
空　路	壱岐空港	長崎空港	32,557
航　路	郷ノ浦港 芦 辺 港	博多港	525,092
		厳原港	28,736
	印通寺港	唐津東港	133,198

(平成 25 年)

交通　道路状況

	路線数(線)	実延長(m)	改良率(%)	舗装率(%)
国　道	1	18,966	99.8	100.0
県　道	10	89,396	74.8	99.2
市　道	3,926	1,334,235	50.0	88.8

(平成 25 年4月1日現在)

陸の要衝
第20回特別企画展
但馬地方の歴史展
4月18日
6月15日
入場無料
主催 壱岐市立一支国博物館
後援 壱岐市教育委員会
information

～神社・壱岐神楽～
資源保護 レオタード海女漁

三島ふれあいチャンネル

歓迎
入市式

6
IKI CITY PROFILE

【地域経営】

さまざまな人が関わり合うまちづくり

豊かさを実感できるまちづくりを実現するためには、まちづくりの担い手として、市民・各種団体・産業・教育・行政がそれぞれの役割を十分に認識し、多様な関わり合いのなかで主体的に取り組んでいくことが重要です。豊かさを実感できるまちづくりの実践には、市民や団体・産業がまちづくりの主体として責任ある関わりを強めるとともに、行政においては健全で的確な行財政運営に努めます。

行政・議会
ADMINISTRATUON AND ASSEMBLY

魅力あるまちづくりを進め、住民サービスの向上を図っていくために、職員一人ひとりの資質向上を図りながら、住民サービスの充実を目指し、行政組織の横断的な連携強化や企業等民間活力の導入、住民参加による施策の推進、情報化や情報提供システムの確立など、自治体の運営体制の総合化を進めていきます。

また、まちづくりは「そこに住む人々自らの創意と力の結集によってつくり上げていくもの」であり、中心となる自治公民館組織、文化団体、ボランティアや地域づくりの団体などの自主的・意欲的な活動を支援することで、地域のまちづくり活動を活性化し、ふれあいとぬくもりのある地域づくりのための事業を実施するとともに、これらの活動を円滑にするネットワークづくりについても進めていきます。

歴代市長

歴　順	氏　　名	在 任 期 間
初　代	長田　　徹	平成 16 年 4 月 18 日～平成 20 年 4 月 17 日
第 2 代	白川　博一	平成 20 年 4 月 18 日～現任中

＊壱岐市長職務執行者　山口　銀矢（平成16年３月１日～平成16年４月16日）

歴代助役・副市長

歴　順	氏　　名	在 任 期 間
初　代	澤木　満義	平成 16 年 5 月 19 日～平成 20 年 4 月 17 日
第 2 代	久田　賢一	平成 20 年 4 月 30 日～平成 24 年 4 月 29 日
第 3 代	中原　康壽	平成 24 年 5 月 15 日～現任中
	山下　三郎	平成 24 年 7 月 18 日～平成 26 年 3 月 31 日

＊地方自治法の改正により、平成19年４月１日付けで「助役」を「副市長」に改称
＊平成24年５月１日より、副市長２名体制

歴代教育長

歴　順	氏　　名	在 任 期 間
初　代	須藤　正人	平成 16 年 5 月 20 日～平成 24 年 5 月 19 日
第 2 代	久保田良和	平成 24 年 5 月 20 日～現任中

＊教育長職務代理者　高田　國行（平成16年３月１日～平成16年５月19日）

歴代収入役

歴　順	氏　　名	在 任 期 間
初　代	布川　昌敏	平成 16 年 5 月 19 日～平成 20 年 4 月 17 日

＊地方自治法の改正により、平成20年４月18日付けで収入役の役職を廃止

歴代議長

歴　順	氏　　名	在 任 期 間
初　代	瀬戸口和幸	平成 16 年 3 月 8 日～平成 17 年 7 月 17 日
第 2 代	深見　忠生	平成 17 年 8 月 17 日～平成 21 年 8 月 6 日
第 3 代	牧永　　護	平成 21 年 8 月 12 日～平成 23 年 8 月 12 日
第 4 代	市山　　繁	平成 23 年 8 月 12 日～平成 25 年 8 月 6 日
第 5 代	町田　正一	平成 25 年 8 月 8 日～現任中

歴代副議長

歴　順	氏　　名	在 任 期 間
初　代	深見　忠生	平成 16 年 3 月 8 日～平成 17 年 7 月 17 日
第 2 代	小園　寛昭	平成 17 年 8 月 17 日～平成 20 年 6 月 23 日
第 3 代	倉元　強弘	平成 20 年 7 月 4 日～平成 21 年 8 月 6 日
第 4 代	小金丸益明	平成 21 年 8 月 12 日～平成 23 年 8 月 12 日
第 5 代	中田　恭一	平成 23 年 8 月 12 日～平成 25 年 8 月 6 日
第 6 代	鵜瀬　和博	平成 25 年 8 月 8 日～現任中

行政組織機構 ADMINISTRATIVE ORGANIZATION MECHANISM

- 市長
  - 副市長
    - 総務部（郷ノ浦庁舎）
      - 総務課
        - 総務班
        - 職員班
        - 事務所（郷ノ浦町）
      - 財政課
        - 財政班
        - 契約班
      - 管財課
        - 財産管理班
        - 土地対策班
      - 庁舎建設対策課
        - 庁舎建設対策班
    - 企画振興部（郷ノ浦庁舎）
      - 政策企画課
        - 企画班
        - 市民協働班
        - お結び班
      - 観光商工課
        - 観光しまづくり班
        - 商工物産班
        - 福岡事務所
    - 市民部（郷ノ浦庁舎）
      - 市民福祉課
        - 市民班
        - 地域福祉班
          - 障害者地域活動支援センター
          - 地域生活ホーム
        - 老人ホーム
        - 特別養護老人ホーム
          - デイサービスセンター
      - こども家庭課
        - 児童家庭班
          - 保育所
          - こどもセンター
        - 幼保連携推進班
      - 保護課
        - 保護班
        - 保護給付班
      - 税務課
        - 市民税班
        - 資産税班
        - 納税特別対策班
    - 郷ノ浦支所
      - 市民生活班
    - 保健環境部（芦辺庁舎）
      - 健康保健課
        - 国保・介護・年金班
        - 保健増進班
        - 地域包括支援センター
      - 環境衛生課
        - 環境衛生班
          - クリーンセンター
        - 廃棄物対策班
    - 芦辺支所
      - 市民生活班
      - 事務所（芦辺町）
    - 農林水産部（石田庁舎）
      - 農林課
        - 農林畜産班
        - 農村整備班
        - 家畜診療所
      - 水産課
        - 水産班
        - 港湾漁港班
        - 管理班
    - 石田支所
      - 市民生活班
    - 建設部（勝本庁舎）
      - 建設課
        - 土木班
        - 管理班
        - 用地班
        - 住宅班
        - 建築班
      - 上下水道課
        - 水道業務班
        - 水道施設管理班
        - 下水道班
    - 勝本支所
      - 市民生活班
      - 事務所（勝本町）
    - 病院部
      - 病院管理課
      - 市民病院
    - 消防本部消防長
      - 消防署
        - 郷ノ浦支署
        - 勝本出張所
        - 空港出張所
      - 総務課
      - 予防課
      - 警防課
    - 会計管理者
      - 会計課
        - 会計係
- 議会（西部総合開発センター）
  - 議会事務局
    - 庶務係
    - 議事係
- 教育委員会（芦辺庁舎）
  - 教育長
    - 教育次長
      - 教育総務課
        - 総務班
          - 幼稚園
        - 学校給食センター
      - 学校教育課
        - 学校教育班
      - 社会教育課
        - 生涯学習班
          - 壱岐文化ホール
      - 国体推進課
        - 推進班
      - 文化財課
        - 文化財班
- 選挙管理委員会（郷ノ浦庁舎）
  - 選挙管理委員会事務局
- 監査（壱岐西部開発総合センター）
  - 監査委員事務局
- 農業委員会（石田庁舎）
  - 農業委員会事務局

春の歳事

4月 うづき
牛まつり（郷ノ浦）
瀬戸春の市（芦辺）
勝本春の市（勝本）
芦辺春の市（芦辺）
石田春の市（石田）

5月 さつき
八日市（郷ノ浦）
お田植え祭

6月 みなづき
壱岐の島 泥んこバレー大会
壱岐サイクルフェスティバル

6月 JUNE

壱岐サイクルフェスティバル

起伏に富んだ壱岐の島一周特設コースで、実力者もテクニカル派も、存分に走りを満喫できるレースです。九州地域の中では歴史のある大会で、毎年多くの選手が参加します。

5月 MAY お田植え祭

6月 JUNE 壱岐の島 泥んこバレー大会

春 SPRING PINK

彩時記

夏の歳事

7月 ふみづき
壱岐郷ノ浦祇園山笠（郷ノ浦）

8月 はづき
辰ノ島フェスティバル（勝本）
夏★夢★祭on the清石ビーチ（芦辺）
壱岐大大神楽（石田）
かつもと土曜夕市（勝本）
八幡浦かずら曳き（芦辺）
石田納涼祭り（石田）
芦辺港花火大会（芦辺）
壱岐の島夜空の祭典（勝本）
ツインズビーチフェスティバル（郷ノ浦）

9月 ながつき
一支國幼児相撲大会（芦辺）

7月 JULY

壱岐郷ノ浦祇園山笠

「盈小流」「郷中流」の手作りの子ども山、そして「新道流」「本町流」「下山流」「塞流」の４つの山が沿道に詰め掛けた観客の熱い声援と水しぶきを浴びながら威勢よく街を駆けめぐります。壱岐の島が熱狂する夏の風物詩です。

夏 SUMMER GREEN

8月 AUGUST 辰ノ島フェスティバル

9月 SEPTEMBER 一支國幼児相撲大会

10月 OCTOBER 刈り入れ祭

10月 OCTOBER 勝本港祭

秋 AUTUMN ORANGE

壱岐

12月 DECEMBER

住吉神社磐戸神楽

壱岐神楽は壱岐の神職のみによって伝承されている神楽で、約 700 年もの古い歴史を持っています。そのひとつ、「磐戸神楽」（大々神楽）は、12 人の祭員によって年の瀬に住吉神社例祭に奉納されます。1987 年 1 月 8 日に重要無形民俗文化財に指定されています。

1月 JANUARY

壱岐の島新春マラソン大会

壱岐の島新春マラソン大会は、一般の部から親子で手を繋いで走るファミリーの部など様々なコースがあります。沿道の声援を受けながら、風光明媚な新春の壱州路を走ろうと島内外から多くのランナーが集まります。

秋の歳事

10月 かんなづき

瀬戸まつり（芦辺）
国分天満宮奉納相撲大会（芦辺）
聖母宮大祭（勝本）
勝本港祭（勝本）
芦辺まつり（芦辺）
石田文化展（石田）
石田野広場（石田）
諸吉まつり（芦辺）
湯本港祭（勝本）
刈り入れ祭

11月 しもつき

勝本町文化展・文化祭（勝本）
郷ノ浦町文化展（郷ノ浦）
芦辺町文化展（芦辺）
ごうのうらひろばの日・ふるさと商工祭（郷ノ浦）
芦辺町文化祭（芦辺）
勝本朝市まつり（勝本）
石田町ふるさと文化祭（石田）
石田町商工・産業まつり（石田）
あしべ商工・産業まつり（芦辺）

12月 しわす

住吉神社磐戸神楽（芦辺）

冬の歳事

1月 むつき

消防出初式
壱岐の島新春マラソン大会（芦辺）

2月 きさらぎ

壱岐一周駅伝大会
壱岐壱岐綱引き大会（石田）

3月 やよい

美濃の谷彼岸参り（芦辺）
一支国ウォークin壱岐
一支国王都復元公園周回駅伝大会

2月 FEBRUARY 壱岐壱岐綱引き大会

冬 WINTER BLUE

3月 MARCH 一支国王都復元公園周回駅伝大会

壱岐の島

名所旧跡めぐり

大陸と日本本土の間、玄界灘に浮かぶ壱岐の島は、東西 15km、南北 17km のまるい平坦な島。ここには神々がすむ森と黒潮がはこんでくる豊かな海、そしてひとびとが慈しみ育む大地がある。

SPOT 04　壱岐風土記の丘　古墳館・古民家園

歴史散策公園。園内には壱岐にあった江戸時代の百姓武家の民家を移築した古民家園や国史跡「壱岐古墳群」を紹介した古墳館の展示を見ることができる。

SPOT 05　ツインズビーチ

塩樽（しおたる）海水浴場と小水浜（こみずはま）海水浴場を合わせてツインズビーチと呼ぶ。小さな入江にある美しい砂浜の海水浴場。

SPOT 06　清石浜（くよしはま）海水浴場

芦辺港の南東に広がる約 500m の美しい砂浜が清石浜である。シーズンオフにはサーフィンやバードウォッチング、ビーチコーミングなども楽しめる。

SPOT 07　鬼の足跡

壱岐を代表する景観で、地元では、大鬼のデイが鯨をすくい捕るために踏ん張ってできた足跡で「鬼の足跡」と呼ばれている。

SPOT 08　辰ノ島

弓状の浜辺は遠浅の白い砂浜で美しく、観光客には人気が高い。海浜植物群落や蛇ケ谷など見所も多い。

SPOT 09　岳ノ辻

標高 212.8m。壱岐島で一番高い山。約 20 万年前、玄武岩溶岩流の上に噴出した火砕層物によって形成された火山砕屑丘（かざんさいせつきゅう）。

04

06

07

SPOT 01　壱岐市立一支国（いきこく）博物館

壱岐しまごと博物館の拠点施設。壱岐に関する資料展示（常設展示）の他、年４回特別企画展を開催。展示以外にも国特別史跡原の辻（はるのつじ）遺跡を一望できる展望室やオープン収蔵庫や発掘資料の整理作業を見学できる観察路など展示似外の機能も充実。

SPOT 02　原（はる）の辻（つじ）遺跡

『魏志』倭人伝に記された「一支国」の王都。大規模な多重環濠集落で、長崎県で２番目に広い平野（深江田原）を中心に約 100 ヘクタールにも及ぶ。国特別史跡に指定。

SPOT 18　文永の役新城古戦場

千人塚の中央に元寇殉国忠魂塔が建ち、左脇には観音像、右脇に本来の千人塚の標石である自然石が２基ある。

SPOT 19　元寇の碇石（いかりいし）

左京鼻沖で発見された。中国製の石を使っているが、日本軍の船の碇石ではないかともいわれている。いまは少貳（しょうに）公園にある。花崗岩（かこうがん）製。

SPOT 20　壱岐芦辺風力発電所

年間平均風速 6 m/s 以上の風が吹く壱岐は、風の島。島の北岸に大陸からの海風を利用した風力発電所がある。

SPOT 21　左京鼻

海鵜（うみう）のおびただしいフンに覆われているが、遠目には武骨な玄武岩が化粧を施したように美しい。

SPOT 22　はらほげ地蔵

六地蔵は六道（地獄・餓鬼・畜生・修羅・人間・天）において衆生の苦患を救うという六種の地蔵である。海女（あま）で有名な八幡浦の海中に祀られている。

SPOT 23　月読（つきよみ）神社

京都の月読神社は、487 年、壱岐の県主（あがたぬし）の先祖忍見宿祢（おしみのすくね）が壱岐から分霊したもので、ここが神道の発祥の地とされる。

SPOT 24　海上山桜

郷ノ浦町の半城湾では、春になると海面を覆うように桜が咲き誇る。海上から見る山桜は旅情豊かで、人々の心に残る春の風物詩となっている。

SPOT 25　湯ノ本温泉郷

壱岐島北西岸、美しい島々に夕日が映える風光明媚な温泉郷。現在の泉源数 17 ヶ所、泉温は 69℃、泉質はナトリウム塩化物温泉。

SPOT 10

男嶽(おんだけ)神社の石猿群

猿田彦命（さるたひこのみこと）が祭神。拝殿横の石段には 200 体を超す石猿が並んでいる。

SPOT 11

筒城浜

海岸線の全長およそ 600m で壱岐を代表する海水浴場。白砂青松の美しい浜は、日本古来の自然美を残した海岸風景で絶景である。「日本の快水浴場 100 選」「日本の渚 100 選」に選ばれている。

SPOT 12

蛇ケ谷(じゃがたに)

勝本層の垂直節理が波によって浸食されて広がり、数 10m の断崖になっている。辰ノ島海水浴場とは対照的に、男性的でダイナミックな風景である。

SPOT 13

勝本朝市

江戸時代に漁民、農民がそれぞれの産物を持ち寄り交換したのが始まり。現在でも毎朝採れたての海の幸、山の幸が所狭しと並べられ、地元の人はもとより、観光客とも言葉を交し合う風情がみられる。

SPOT 14

住吉神社

祭神は底筒男神（そこつつおのかみ）、中筒男神、表（うわ）筒男神、相殿に八千戈神（やちほこのかみ）で、明治４年、国幣中社に列格。

SPOT 15

春一番の塔

1859（安政６）年、春一番により地元の漁師 53 名が遭難した。昭和 62 年、郷ノ浦港入口の元居公園に、船の帆をイメージした「春一番の塔」が建てられた。

SPOT 16

壱岐国分寺跡(壱岐嶋分寺跡)

741 年に聖武天皇の命を受けてつくられた国分寺の跡。島につくられたことから「嶋分寺（とうぶんじ）」とも呼ばれた。現在は、礎石だけが残り平地になっている。

SPOT 17

鬼の窟(いわや)古墳

６世紀後半～７世紀前半頃の築造。直径 45m、高さは 13m。内部は大きな玄武岩を幾つも積み上げた横穴式。

08

09

11

14

SPOT 03

猿岩

黒崎半島のさらに先端にある高さ 45 mの海蝕崖（かいしょくがい）の玄武岩。そっぽを向いた猿にそっくりで、気紛れな自然の造形に驚かされる。壱岐島誕生の神話によると、「壱岐の国は生き島である。神様が海の中でこの島をお産みになったとき、流されてしまわないようにと８本の柱を立てて繋いだ。その柱は折れ残り、今も岩となって折柱（おればしら）といわれている」とある。その８本の柱のひとつが猿岩である。

21

23

26

28

SPOT 26

イルカパーク

海とつながっている入江でイルカを飼育しているふれあい施設。自然に近い状態でのびのびと元気に泳ぎ回るイルカたちを間近で見ることができる。

SPOT 27

掛木古墳

６世紀末～７世紀前半の築造。円墳で、墳丘の直径は約 30 m。県下で唯一の「くり抜き式家形石棺」を持つ古墳として有名。

SPOT 28

松永安左工門記念館

「日本の電気王」・「電力の鬼」と称された松永安左工門の功績を伝えるために、生家跡に建設。生前愛用した所持品や文書などが展示されている。

SPOT 29

壱岐安国寺

後醍醐天皇の死を弔うために足利尊氏の命を受けて全国 66 国と２島に建立された安国寺。壱岐では元々あった「海印寺」を「安国寺」と改めた。県指定の史跡。

SPOT 30

勝本城跡

1591（天正 19）年、豊臣秀吉が朝鮮出兵にそなえて平戸藩主松浦鎮信（まつらしげのぶ）に命じて築城させたもの。海抜 78.9m の山頂部に築城。国指定の史跡。

SPOT 31

国津意加美(くにつおがみ)神社

境内の狛犬（玉含獅子・子抱獅子の一対）は壱岐の名工･山内利兵衛（やまうちりへい）の傑作といわれている。1862（文久２）年に献納。利兵衛 63 歳の時の作。

SPOT 32

串山海水浴場

勝本港の東海岸にある。串山キャンプ場が隣接しているので、テントサイトからそのまま水着でビーチに直行できる。

SPOT 33

黒崎砲台跡

口径 41cm のカノン砲２門の砲台で砲身の長さ 18.83m、弾丸の重さ 1t、最大射程距離約 35km。一発も実弾を発射することがなかった。

市章

壱岐の「i」をモチーフとし、躍動する曲線で「海とみどり、歴史を活かす癒しのしま、壱岐」の更なる飛躍する姿を力強く表現。

また、漢字の「人」で波を表し、壱岐を訪れる多くの人々との出会いと交流をイメージ。赤は活力と未来へ輝く太陽、緑は自然に恵まれた豊かな暮らしを意味します。

市の花木

やぶ椿

市内全域にわたり自生する常緑高木で、「カテシノキ」として、市民に親しまれています。また、種子からはつばき油も採れ、私たちの生活にも関わりのある花木です。

市の花

水　仙

市内のいたる所に群生し、親しみがあり、清楚で気品があります。多年草の花で、耐寒性があり育てやすく、厳冬の中に花を見ると春の訪れを感じることのできる花です。

市の木

ま　き

市内に自生する常緑高木で、強風・塩害・病害虫に強く、庭木・生け垣・用材として広く利用されており、生活になじみの深い木です。

市の鳥

めじろ

市内に広く生息し親しみがあり、可愛くさえずります。目をふちどる白い輪が特徴です。身近に見られ、美しく、愛らしい鳥です。

壱岐市　市歌

壱岐洋洋

作詞:藤本　健人／作曲:小椋　佳／編曲:川辺　真

1．春一番に　さそわれて
花咲き海の　碧が増す
いとなみ刻む　手をつなぎ
明るい希望　奏でよう
はばたく壱岐の　空映ゆる
はばたく壱岐の　空映ゆる

2．海とみどりに　育まれ
ゆたかな恵み　わかち合う
心ひとつに　ときめいて
新たな息吹　生み出そう
きらめく壱岐の　島萌ゆる
きらめく壱岐の　島萌ゆる

3．玄界灘の　波うけて
島に弥生の　風薫る
永い歴史を　承け伝え
輝く未来を　見つめよう
ゆらめく壱岐の　海光る
ゆらめく壱岐の　海光る

壱岐市マスコットキャラクター

人面石くん

壱岐・原の辻遺跡から出土した人面石がモチーフ。特技は子供泣かせ！ 泣く子はもっと泣く！ 見た目は硬派だが、中身はナイーブ。世界ブランドの「壱岐焼酎」や「壱岐牛」、「うに」など壱岐産のものが大好物！

海都くん＆はるのちゃん

【海都くん】海の王都・原の辻の若き王。いつもは船に乗っている。特技は「船漕ぎ」。
【はるのちゃん】原の辻に住む少女。原の辻で育つ良質なお米が大好き。特技は「米作り」。

ウニボーイ＆アカウニガール

【ウニボーイ】４～６月にかけて玄界灘からやってくる。甘みがあってとにかくおいしい。
【アカウニガール】梅雨明けから10月ぐらいにかけて玄界灘からやってくる。とても上品な味がする。

長崎県壱岐市
〒811-5192 長崎県壱岐市郷ノ浦町本村触 562 番地
TEL.0920-48-1111　FAX.0920-48-1553
URL ／ http://www.city.iki.nagasaki.jp　E-mail ／ iki@city.iki.lg.jp

勝本庁舎	〒811-5521　長崎県壱岐市勝本町西戸触 182 番地 5 TEL.0920-42-1111　FAX.0920-42-1116
芦辺庁舎	〒811-5392　長崎県壱岐市芦辺町芦辺浦 562 番地 TEL.0920-45-1111　FAX.0920-45-0996
石田庁舎	〒811-5215　長崎県壱岐市石田町石田西触 1290 番地 TEL.0920-44-6111　FAX.0920-44-6020
議会事務局 監査委員事務局	〒811-5521　長崎県壱岐市勝本町西戸触 182 番地 5 TEL.0920-42-1111　FAX.0920-42-0096
選挙管理委員会	〒811-5192　長崎県壱岐市郷ノ浦町本村触 562 番地 TEL.0920-47-1211　FAX.0920-47-4844
農業委員会事務局	〒811-5215　長崎県壱岐市石田町石田西触 1290 番地 TEL.0920-44-6111　FAX.0920-44-6020
教育委員会	〒811-5392　長崎県壱岐市芦辺町芦辺浦 562 番地 TEL.0920-45-1111　FAX.0920-45-0996
消防本部	〒811-5757　長崎県壱岐市芦辺町中野郷西触 411 番地 2 TEL.0920-45-3037　FAX.0920-45-0992

平成 27 年 3 月発行　壱岐市政策企画課